

KÄRCHER

取扱説明書

KM 105/110 R Bp

KM 125/130 R Bp



注意

清掃は自己責任において行なうこと
万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合もしくは正しく操作をせずに
ケガ等を負った場合、当社では一切の責任を負いません。

出荷時のバッテリーはテスト充電のみ行われています。
ご使用前に充電を必ず行ってください。

KM 105/110 Bp
KM 125/130 Bp
202105

もくじ

用途・コーションマーク	3
バッテリー・コーションマーク	4
バッテリーへの保水	5
積み下ろし・積載固定位置・ジャッキポイント	6
安全装置	7
緊急対応	8
KM 110/105R Bp 名称	9
KM 125/130R Bp 名称	10
名称	11
仕様	12～13
使用上の注意	14～18
メンテナンス スケジュール	19
メンテナンス方法	20～24
操作方法	25～27
KIK キー 操作	28
言語設定	29
KIK イエローキー	30
KIK グレーキー	31
トラブル対応	32
エラーコードディスプレイメッセージ表示：トラブル対応	33～34
エラーコード	35
補修部品	36～37
ユーザー登録・保証	38
保証書	39～40

お問い合わせ・修理

<サービスフロント>

製品の故障、修理についてのお問い合わせはケルヒャー サービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00

(祝祭日、当社休日を除く)

TEL : 0570-78-3140

FAX : 045-438-1320

● 出張修理費用

出張修理は下記の費用が発生します。 <料金については別途お問い合わせください。>

- ① 作業工賃 (※ 待機時間も含まれます。)
- ② 出張基本料金
- ③ 拠点からの移動費 (※ 高速・燃油費用も含まれます。)
- ④ 部品代
- ⑤ 現場から車両保管場所もしくは修理実施工場までの搬送費

出張見積もり

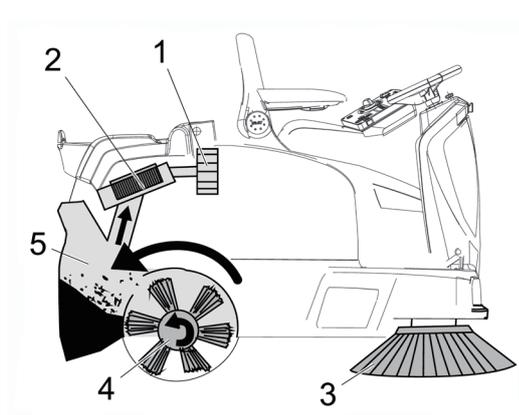
出張修理に準じます。

機械を分解し不良特定を行うため車両運用は修理完了まで使用頂けません。

引き揚げの場合は実費をご請求いたします。

夜間・深夜作業は追加料金が生じます。

用途・コーションマーク



<構造>

- 1 タービン
- 2 フィルター
- 3 サイドブラシ
- 4 メインブラシ
- 5 ダストコンテナ

サイドブラシで中央に集められたゴミがメインブラシで巻き上げられダストコンテナに放り込まれます。メインブラシで発生した粉塵はタービンにより吸い上げられフィルターで濾過後排気されます。

推奨する路面

アスファルト・工場の塗床・コンクリート床・敷石等

	火災の危険性 タバコ、マッチまたは燃え殻を回収しないでください。
	警告 ケガのリスク ベルト、サイドブラシ、廃棄物容器、カバーに挟み込まれたりケガをする危険性があります。
	傾斜の危険 車両が水平で堅固な路面時停車時のみダストコンテナを操作してください。
	タイヤ 充填空気圧
	ジャッキアップポイント ジャッキを取り付ける場所です。
	搬送時の固定位置
	注意 ローラーブラシが回転するためケガをする危険が伴います。停止中のみブラシカバーを開けてください。

<コーションマーク>

車両にはマークが添付されています。マークの意味を理解いただき安全作業を行ってください。

環境保護

梱包材はリサイクルすることができます。

回収したごみ

環境規制に従い廃棄してください。

電気・電子機器には貴重なリサイクル可能な材料が含まれており、取扱いや廃棄が不適切な場合、健康や環境に脅威を与える可能性があります。

回収したゴミに右のマークの付いている場合は家庭ごみと一緒に廃棄出来る場合があります、管轄の地方自治体に確認してください。

産業廃棄物

地方自治体の規制を遵守してください。

産業廃棄物は家庭ごみとして処理できません。

有効な安全データシートに従い梱包資材を廃棄してください。

車両の廃棄処分

車両には、貴重なリサイクル資材が含まれています。

車両の処分に関しては廃棄物管理会社と協力することをお勧めいたします。



バッテリー・コーションマーク

	バッテリーの指示、使用説明書、および車両の取扱説明書を熟読してください。
	保護メガネを着用してください。
	子供をバッテリーから遠ざけてください。
	爆発の危険があります。
	火、火花、および喫煙は許可されていません。
	石灰等に近づけないこと カセイ化（苛性化）反応の危険があります。
	応急処置
	警告
	廃棄方法
	バッテリーを一般箱として扱わないでください。

<バッテリーに関するコーションマーク>
バッテリーを取り扱う場合は、マークの意味を理解いただき安全作業を行ってください。

<危険>

爆発の危険があります。

バッテリー上面や端子に工具などを置かないでください。

けがの恐れがあります。

皮膚にバッテリー液が接触しないようにしてください。バッテリーを取扱った後は手を綺麗に濯いでください。

火災や爆発の危険があります。

喫煙や裸火は厳禁

バッテリーを充電した場合、爆発性の水素ガスが発生します。強制換気設備を動かした状態で充電を行ってください。

苛性化の危険があります。

酸が目に入ったり皮膚に触れた場合は、大量のきれいな水で十分に洗い流してください。

その後すぐに医師に相談してください。

衣服に触れた場合は酸を洗い流してください。

バッテリー液面を確認してください。

<警告>

バッテリーの液面を定期的に確認してください。満充電されたバッテリー液の比重は 20°C の液温で 1.28 kg / L の比重です。

全てのバッテリーセルの比重を均一にしてください。

<充電手順>

- ① すべてのセルのキャップを外します。
- ② 比重計を用い各セルのバッテリー液を採取します。
- ③ 測定後、同じセルに戻します。
- ④ 液面が低い場合は蒸留水を規定量補充します。
- ⑤ バッテリーを充電してください。
- ⑥ セルキャップを締めます。

<推奨バッテリー、充電器>

純正バッテリーと純正充電器の組合せで使用してください。その場合のみ保証が適用されます。

純正充電器で他のバッテリーは充電できません。

<注意>

純正バッテリー以外を搭載する場合は最大電池寸法を厳守してください。

純正充電器は純正以外のバッテリーを充電することは出来ません。

バッテリーの保水・充電

清掃作業中にメッセージ「Charge battery!」が表示された場合
ブラシ等の清掃作業装置が停止しますが約 15 分間走行は可能です。
バッテリーの容量が低下している為、直ちに充電場所へ移動し充電作業を行うことを推奨します。
そのまま作業を持続した場合「BAT switch off!」のメッセージが表示され直ちに停止します。



KM 105/110 R Bp
24V 240Ah (2V × 12 個)鉄箱 6.654-112.0が搭載されています。
積載スペース
L × W × H : 622 mm x 402 mm x 379 mm

KM 125/130 R Bp
24V 400Ah (2V × 12 個)鉄箱 6.654-156.0が搭載されています。
積載スペース
L × W × H : 827 mm x 324 mm x 462 mm

<バッテリーの保水>

保水は専用アクセサリで毎回行ってください。

保水タンク : 2.641-244.0 を別途用意してください。

- ① 保水タンクに蒸留水を入れてください。
- ② バッテリーより高い場所に置いてください。
- ③ バッテリー側のホースとタンク側のホースを接続してください。
- ④ タンクのcockを開けてください。
- ⑤ 水車が止まると保水が完了しました。



- ⑥ バルブを閉め接続ホースを取り外しタンクを保管してください。

<バッテリーの充電>

充電器を床に置いた状態で充電を行わないこと
湿度・ホコリ等により充電機が損傷します。

平坦な場所に移動し充電を行ってください。

- ① メインスイッチを切ってください。
- ② サイドカバー 左側前方の取手に手をかけ持ち上げながら横に開いてください。



- ③ バッテリーに保水を行ってください。
- ④ 電源ケーブルをホルダーから取り外し電源プラグに接続してください。
- ⑤ 充電完了後、電源コードをコンセントから取り外し格納してください。

オレンジ：充電中

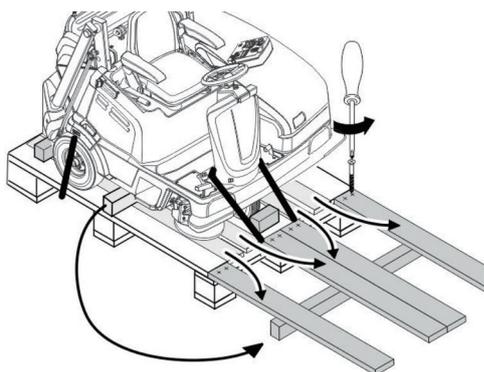
グリーン：充電終了

赤：バッテリーを認識できない（過放電・不良）

赤点滅：バッテリー不良



積み下ろし・積載固定位置・ジャッキポイント



積み下ろし

<注意>

フォークリフトで降ろさないでください。
車両を損傷します。

- ① 充電を行ってください。
テスト充電のみ行われています。
満充電で出荷していません。
- ② パレットに組み込まれている部材（左図参照）を取外してください。
取外した部材でスロープを作ります。
必ず木ネジ（ご用意ください）で固定してください。
- ③ バッテリーを接続してください。
- ④ 機械を作動させ慎重にパレットから降ろしてください。
移動は取扱説明書を熟読後行ってください。

質量（バッテリー搭載時）

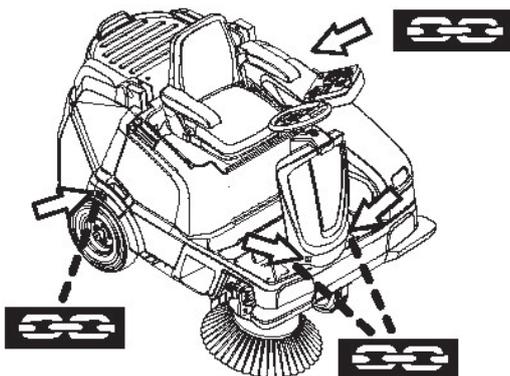
KM105/110R : 590Kg

KM125/130R : 820Kg

※ 移送用パレットはお客様で処分してください。

積載固定位置

- ① 拘束具で確実に固定してください。

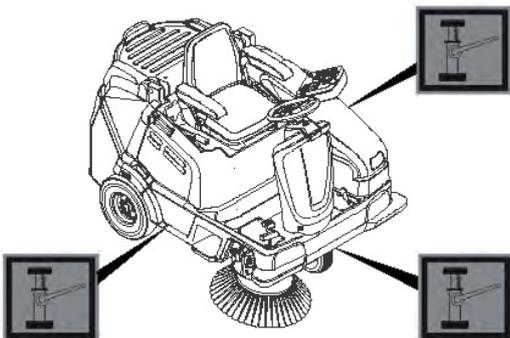


ジャッキアップ

- ① 平らな床面に移動してください。
- ② 床の安定性を確認します。
- ③ 車止めを併用してください。
- ④ ジャッキアップポイントへジャッキを設置してください。

<注意>

適切なジャッキを使用してください。



安全装置

<重要>

車両には様々な安全装置が組み込まれています。
安全装置（スイッチ等）を無効にしないでください。



<メインスイッチ・非常停止>

緊急停止する場合はメインスイッチを切って (0) ください。

再起動する場合はプログラムスイッチを一度 OFF にしてください。



<サイドカバー 左>

サイドカバー 左側が開いていると起動しません。
ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

<シートスイッチ>

運転者がシートに着座していない場合起動しません。

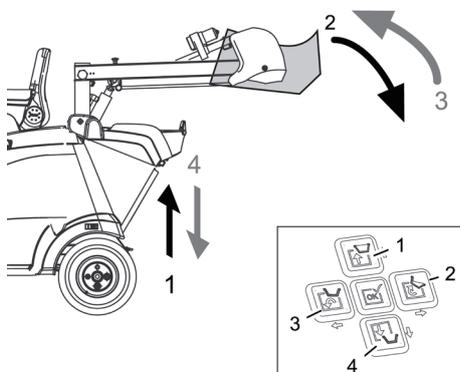
<注意>

シート位置を調整せずに作業を行うと、運転中にシートスイッチが作動し緊急停止します。



<コンテナ作動 ダブルスイッチ>

コンテナを作動させるためには
2個のスイッチを同時操作しなければ起動しません。



<コンテナ>

コンテナ昇降作業中は清掃システムは作動しません。
定位置に格納された場合のみ清掃作業が行えます。

- 1 コンテナ上昇
- 2 コンテナ回転廃棄（チルト）
- 3 コンテナチルト解除（チルト）
- 4 コンテナ格納

緊急対応

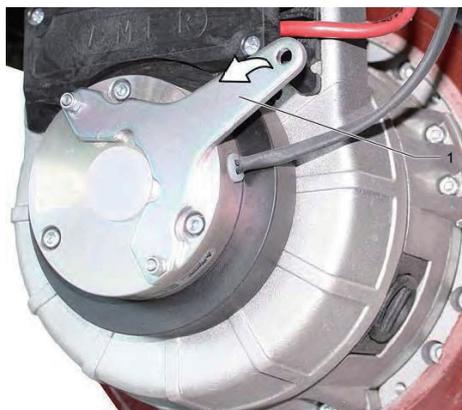
<警告>

ブレーキの緊急解除を行う場合は水平・平坦な路面で行うこと
4Km/h 以上の速度で移動した場合、コントロールモジュールが損傷します。
緊急移動は安全確保のため3名以上でおこなってください。



<緊急時の移動>

電装系が損傷・もしくはバッテリーが放電した場合には行います。



KM 105/110 Bp

- ① 前輪モーター横のレバーを外側に引き固定するとブレーキが強制解除することができます。
- ② ハンドル操作を行う為搭乗してください。
- ③ 車両後部を慎重に押してください。

<注意>

平坦な場所のみで行ってください。



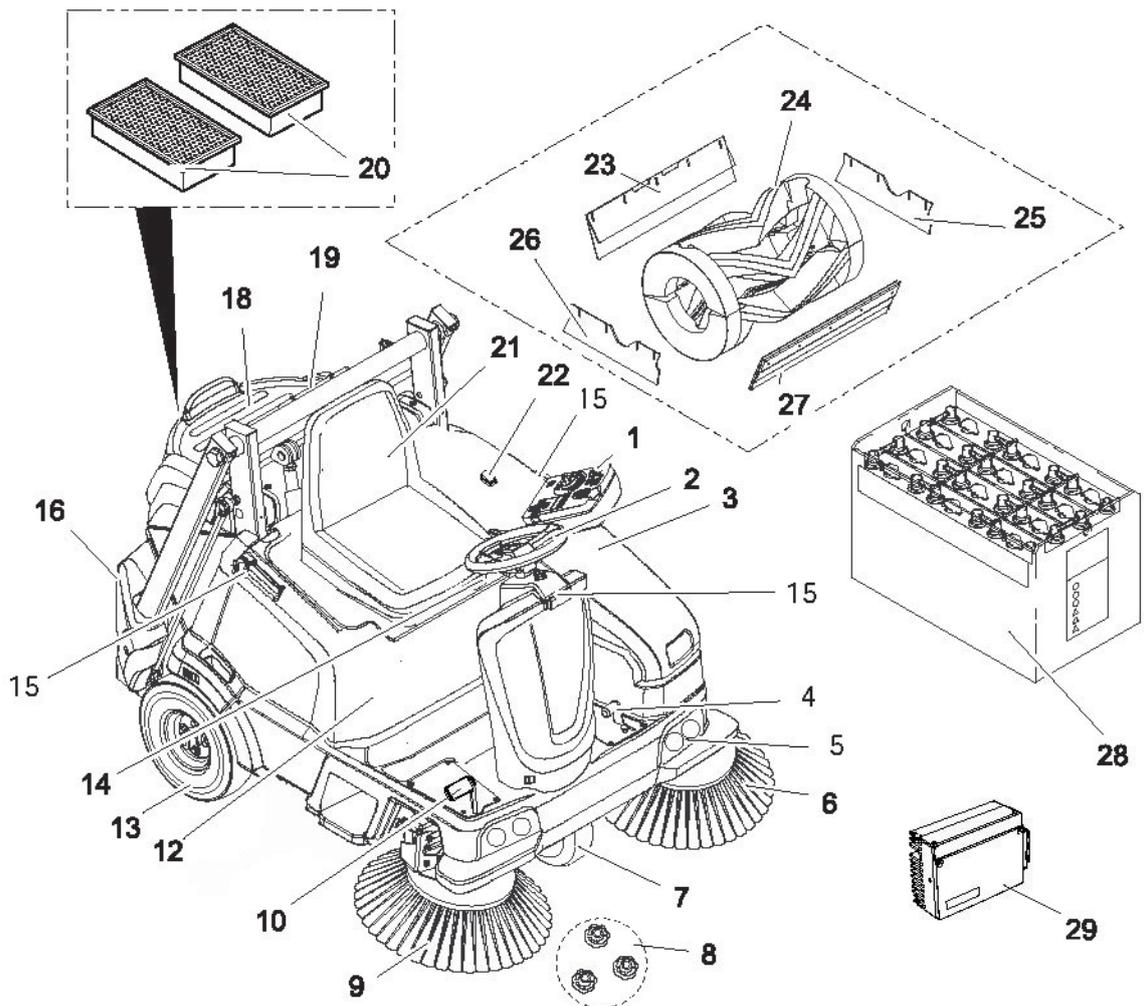
KM 125/130 Bp

- ① 前輪モーター横のアームのロッドを操作します。
- ② ロッドを外側に引き固定してください。ブレーキを強制解除することができます。
- ③ ハンドル操作を行う為搭乗してください。
- ④ 車両後部を慎重に押してください。

<注意>

平坦な場所のみで行ってください。

KM 105/110R Bp 名称

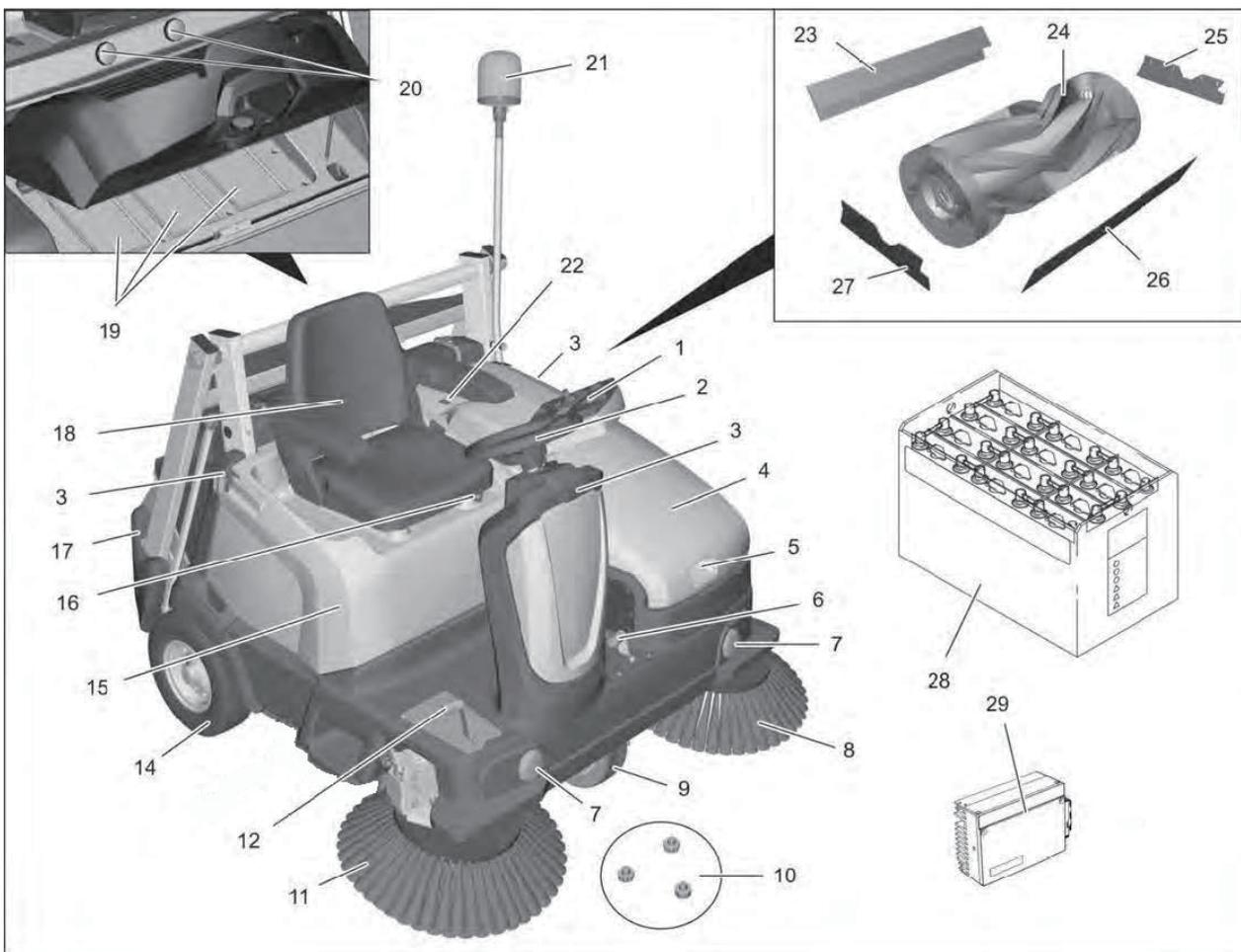


- | | |
|----------------------------|--|
| 1 操作パネル | 16 ダストコンテナ |
| 2 ハンドル | 17 該当なし |
| 3 サイドカバー 左 | 18 TACT (自動チリ落とし) |
| 4 フラップ開閉ペダル | 19 ダストコンテナ昇降シリンダー |
| 5 作業灯 | 20 フィルター 2個 :6.907-519.0 |
| 6 左サイドブラシ | 21 シート (着座スイッチ付) |
| 7 前輪 (走行モーター) | 22 ダストコンテナ昇降スイッチ A |
| 8 サイドブラシ固定ナット :6.310-066.0 | 23 リアストリップ :5.394-884.0 |
| 9 右サイドブラシ | 24 メインブラシ |
| 10 アクセルペダル | 25 左サイドストリップ :5.394-888.0 |
| 11 サードブラシ (オプション) | 26 右サイドストリップ :5.394-888.0 |
| 12 サイドカバー 右 | 27 フロントストリップ :5.394-889.0 |
| 13 後輪 | 28 バッテリー ASSY |
| 14 シート調節レバー | 24V 240Ah 鉄箱 6.654-112.0 |
| 15 アクセサリー取付けバー | 積載スペース L×W×H: 622 mm x 402 mm x 379 mm |
| | 29 充電器 |

<注意>

取付位置・形状は変わることがあります。

KM 125/130R Bp 名称



- 1 操作パネル
- 2 ハンドル
- 3 アクセサリー取付けバー
- 4 サイドカバー 左
- 5 取っ手
- 6 フラップ開閉ペダル
- 7 作業灯
- 8 左サイドブラシ
- 9 前輪 (走行モーター)
- 10 サイドブラシ固定ナット :6.310-066.0
- 11 右サイドブラシ
- 12 アクセルペダル
- 13 該当なし
- 14 後輪
- 15 サイドカバー 右

- 16 シート調整レバー
- 17 ダストコンテナ
- 18 シート (着座スイッチ付)
- 19 フィルター 3個 :6.907-519.0
- 20 ダストコンテナ昇降シリンダー
- 21 回転灯 (オプション)
- 22 ダストコンテナ昇降スイッチ A
- 23 リアストリップ :5.394-892.0 + 5.394-893.0
- 24 メインブラシ
- 25 左サイドストリップ :5.394-888.0
- 26 フロントストリップ :5.394-924.0
- 27 右サイドストリップ :5.394-888.0
- 28 バッテリー ASSY
24V 400Ah 6.654-156.0
積載スペース L×W×H: 827 mm x 324 mm x 462 mm
- 29 充電器

<注意>
取付位置・形状は変わることが有ります。

名称



- 1 シート調整レバー
- 2 操作パネル
- 3 シート (着座スイッチ付)
- 4 サクションタービン
- 5 サイドカバー 左
- 6 ダストコンテナ調整ロッド
- 7 アクセサリー取付けバー
- 8 ダストコンテナ 回転モーター
- 9 モーターカバー
- 10 後輪
- 11 フラップ (大きなゴミ捕獲時)
- 12 サイドストリップ
- 13 フロントストリップ
- 14 取っ手
- 16 前輪 (走行モーター)
- 17 右サイドブラシ
- 18 フラップ開閉ペダル (大きなゴミ捕獲時)
- 19 アクセルペダル
- 20 油圧オイルタンク
- 21 固定ボルト (油圧オイルタンク)
- 22 ハンドル



- 1 サイドカバー 右
- 2 サイドブラシ 右
- 3 後輪
- 4 ダストコンテナ
- 5 フィルターカバー 固定ボルト
- 6 フィルターカバー (TACT)
最大積載荷重: 20 kg
積載物を固定してください。
- 7 昇降フレーム

<コンテナ整備を行う場合>

安全バーを必ず装着し挟まれ事故防止策を行ってください。



仕様

			KM105/110	KM125/130
バッテリー	容量	Ah	240	400
	電圧	V	DC 24	
	質量	Kg	185	320
	充放電回数	回	約 1,000	
	充電時間	時間	約 10 ~ 15	
充電器	入力電圧	V	AC 200	
	出力電圧		DC 24	
	出力	A	30	
	ヒューズ容量	A	40	
作業時間	時間	4	5	
回転半径	m	2.7	3.0	
清掃面積	メインブラシ	m ² /h (目安)	3,840	7,040
	メインブラシ+右サイドブラシ		6,300	10,000
	メインブラシ+両サイドブラシ		8700	13,600
清掃幅	メインブラシ	mm	640	880
	右サイドブラシ	mm	1,050	1,250
	2 サイドブラシ	mm	1,450	1,700
登坂能力	%	12		
速度	前進 (最大)	Km/h	6	8
	清掃 (最大)		4	
	後進 (最大)		3	
ブレーキ	走行モーター 駐車ブレーキ	タイプ	電磁ブレーキ ディスクブレーキ	
走行モーター	タイプ	V	DC 24	
	出力	W	750	1,000
	異物混入規格	IP	IP 44	
ブロアーモーター	タイプ	V	DC 24	
	出力	W	200	
	異物混入規格	IP	IP 20	
	回転数	l/min	3,500	
	吸引風量	l/s	92	
	吸引圧力	Pa	600	(0.0006MPa)
メインブラシモーター	タイプ	V	DC 24	
	出力	W	750	1,100
	異物混入規格	IP	IP 20	
メインブラシ	回転数	1/min	500	
	直径	mm	400	
	長さ	mm	640	880

仕様

			KM105/110	KM125/130
サイドブラシモーター 1個	電圧	V	DC 24	
	出力	W	240	
	異物混入規格	IP	IP 44	
サイドブラシ	直径	mm	600	
	回転数	1/min	65	
ヒューズ	メインヒューズ容量	A	175	
	制御ヒューズ容量		5	
ダストコンテナ	容量	L	80	110
	ダンプ重量	Kg	100	150
	上昇高さ	mm	1550	
フィルター	チリ落とし	TACT	自動	
	能力	クラス	M	
	表面積	m ²	1.2	1.8
	個数	個	2	3
使用可能環境	温度	°C	0 ~ 40	
	湿度	%	0 ~ 90	
騒音値		dB (A)	64	71
振動数	ハンドル		< 2.5	
	シート	dB (A)	0.4	
寸法	長さ L	mm	1,800	
	幅 W	mm	1,250	1,500
	高さ H	mm	1,450	
タイヤ	前輪		モーター一体型	
	後輪	サイズ	4.00-8 8PR	
	空気圧	Mpa	0.6	
質量	バッテリー込	Kg	590	820
	バッテリーを除く		405	500
	許容総重量		825	1,060

使用上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視し誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視し誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



使用時の警告



子供には触らせないこと
重大事故が生じる場合があります非常に危険です。

操作未熟者は作業を行わないこと
身体的、感覚的または精神的能力が制限されている人、経験が不足している、または知識が不足している方々の清掃用として設計されていません。

操作訓練を受講していない作業者は運転しないこと

飲酒時には絶対に運転しないこと

危険物や火気のある場所で使用しないこと
火災の原因となります。

防爆エリアには立ち入らないこと
火災の原因となります。

改造禁止
火災、感電、けがの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の機械の性能や機能に適さない部品を使用しない。
機能を十分に発揮せず思わぬ事故のもとになることがあります。

12%以上の坂道走行は禁止



使用時の警告

車両の周りの安全が確保できない場合は運転を行わないこと



回転部に手を入れないこと
巻込まれる場合があります。

コンテナ上昇時は格納部位に入らないこと
重大事故が生じる場合があります危険です。

ダストコンテナ上昇時は走行しないこと
転倒する危険性があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。

本体、電源プラグに高圧水をかけないこと
漏電が生じる場合があります。

シートに重量物を置かないこと
誤動作を生じる場合があります。

屋外に保管しないこと
作動油圧系統の損傷を招きます。

充電中は火気厳禁
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

バッテリーを短絡させないこと
短絡させた場合、爆発する危険性があります。

バッテリーに水をかけないこと
引火爆発の原因となります。

バッテリーを乾いた布で拭わないこと
引火爆発の原因となります。

バッテリー極板をバッテリー液から露出させないこと
バッテリーの充電作業前にバッテリー液の補充を行ってください。
バッテリーの極板がバッテリー液から露出した場合、バッテリーの寿命が著しく低下したり損傷・爆発を生じます。



汚染された可能性のある場所を洗浄する場合は適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

均一で適切な速度で旋回すること
転倒の危険性が有ります。

上り坂 / 下り坂の斜面を横切る操舵は注意すること
転倒の危険性が有ります。

充電作業時はスイッチを切ること
スイッチが起動状態で充電を行うと制御系統が壊れます。

充電作業は換気の良い場所で行うこと
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

バッテリーの形状に注意すること
バッテリーの寿命が近づいてくるとバッテリーケースが変形します。



作業に関する注意



安全装置を取外さないこと

お客様の安全を確保するための装置です。
安全装置を変更したりバイパスしたりしないでください。

始動時はアクセルペダルを踏まないこと

走行モジュールにエラーが表示されます。

急激なアクセルペダルの操作をしないこと

アクセルペダルはゆっくり踏み込んでください。

急激なハンドル操作を行わないこと

横転の危険があります。

斜面に対し直行しないこと

転倒の危険が高まります。

動作に不具合が有る場合は使用しないこと

不具合に伴う弊害が発生し損害を生じる原因となります。

停止したまま同じ場所を清掃しないこと

路面が損傷する場合があります。

60 mm以上の段差を超えないこと

必ず1輪ずつ段差をこえてるか傾斜路をもうけてください。
走行系統・ブラシユニットを損傷します。

燃焼（くすぶっている）しているゴミは回収しないこと

車両火災が発生する可能性があります。

スプレー缶等のゴミは回収しないこと

車両火災が発生する可能性があります。

殺虫剤・農薬・肥料の回収には使用しないこと

車両が腐食する可能性があります。

高アルカリ性・酸性の溶液に反応する金属粉塵は回収しないこと

爆発性のガスを生成し危険を伴います。

水と反応する粉じんは回収しないこと

火災が発生する危険が伴います。

ガソリン・有機溶剤・灯油・重油が付着したごみを回収しないこと

火災が発生する危険が伴います。

不整地路面では使用しないこと

運転者以外の複数の人員を搭乗させないこと

汚水の回収は行わないこと

液体の回収には機械構造的に適していません。

牽引作業を行わないこと

牽引を行う強度を要していません。

タイヤ、走行モーター、ブラシ、バッテリー、シール、モーター、電子部品を水洗いしないこと



作業に関する注意



取扱説明書に記載された手順に従うこと
重大な障害を生じる場合があります。

取扱説明書は、取出し易い場所に保管すること

熟練訓練を行うこと
転舵装置が一般車両と異なります。
回転半径が小さく人・動物・物を挟み込まないよう注意してください。

操舵特性に注意すること
滑りやすい路面（雪上、氷上、濡れた、ぬかるむ路面）斜面で旋回操作を行う
場合、急激はハンドル操作は行わないでください。

法規を遵守し運転を行うこと
安全規則、労働衛生規則、道路交通規則を遵守してください。

長時間作業を行う場合は定期的な休息をとること

車両の周りの安全確認を行うこと
車両付近に他の人や、動物、障害物がないかを確認してください。

高速走行時のハンドル操作に注意すること
転回する場合は速度を落としてください。

制動はアクセルペダルを放すこと
アクセルペダルを離すと制動減速へ移行します。
これは、一般車両とは異なります。車間距離を取り運徴してください。

後退する場合は後方を確認すること
人・物がないことを確認した後後退してください。

ひも状のゴミは事前に取り除くこと
ブラシに巻きつきブラシを痛めます。

スーパー作業終了後ダストコンテナのゴミを廃棄すること

車両の安全・安定性を確認しゴミを捨てること

輸送時の安全を確保すること
積載時の地上高に注意してください。
積載時は車両を規程の場所で固定してください。
冬季間の積載時は積載面の融雪を取り除いてください。
積載可能重量を確認してください。



作業に関する注意



メンテナンスの際は停止状態で行うこと

始業前点検を行うこと
車両運送法により規定されています。

自社メンテナンスを行う場合は選任者を指定すること
トレーニングを受講した選任者による整備を行ってください。

バッテリー接続ケーブルは確実に取り付けること
ゆるみが生じている場合、バッテリーを損傷します。

純正部品を使用すること
純正部品以外を使用された場合、性能が維持できない場合が生じます。
純正以外の部品を装着し損傷した場合、一切の保証はなされません。

作動油は定期的に交換すること
500 作業時間毎に交換してください。

1 か月以上使用しない場合は車両のバッテリー接続線を取外すこと
バッテリーは使用しない状態で保管した場合、約 3 ヶ月で完全放電します。
再使用する前にバッテリーの充電を行ってください。

1 か月以上使用しない場合は車両をジャッキアップすること
タイヤの変形を抑制します。

定期点検契約を行きましょう。
統計的に定期点検を行事により運用効果が高まります。
故障発生後の費用は定期点検により事前対応提案の約 3 倍の修理費用がかかり
修復までの車両休眠時間は約 8 倍の時間を要します。
定期点検をご契約いただく事により
修理費用の抑制、無可動時間を抑制し、車両寿命が伸び、運用効率が格段に
向上します。

メンテナンス スケジュール

メンテナンス項目	使用 毎回	20 作業時間毎	100 作業時間毎	200 作業時間毎	500 作業時間毎
外観	●				
灯火器の状態	●				
スイッチの動作	●				
バッテリー液の量・補充	●				
ハンドルのガタツキ	●				
ホイールナットの締付	●				
後輪の空気圧		●			
タイヤの溝	●				
シートスイッチの状態	●				
ブレーキの利き具合	●				
作動油の量・補充	●				
作動油交換					●
ダストコンテナの昇降状態	●				
ブラシの摩耗	●				
メインブラシ周りのストラップ				●	
メインブラシ駆動ベルト テンション				●	
エアポンプ				●	
エアポンプ フィルター交換			●		
ダストフィルターの交換				●	
自動チリ落とし (TACT) 作動状態				●	

定期点検時はユーザーメンテナンスを実施しているかを確認すること

<ユーザーメンテナンスの実施間隔>

操作を開始する前に毎日、起動前に実施してください。

定期的な安全性チェックを弊社へご依頼ください（定期点検の契約を推奨いたします）

ユーザーが実施する検査および保守作業の間隔は表に従い行ってください。

<注意>

日常メンテナンスはおお客様の責任で必ず行ってください。

日常メンテナンスが行われていない場合、保障が受けられない場合があります。

不具合が生じている場合は使用を中止し修理をご依頼ください。

メンテナンス時は車止めを併用してください。

メンテナンス方法



<バッテリーの目視確認>
車止めを併用してください。
定期的にサイドカバー右を取外しバッテリーの外観確認を行ってください。

1 固定スクリュー

① シート後部の固定スクリューを取外してください。



- ② シートを前方にずらしてください。
- ③ シートスイッチの接続線のコネクターを取外してください。
- ④ サイドカバー右を持上げ取り除いてください。



- ⑤ ケーブル接続部位の緩みがないか確認してください。
- ⑥ バッテリー表面が汚れている場合は湿った布で拭き取ってください。

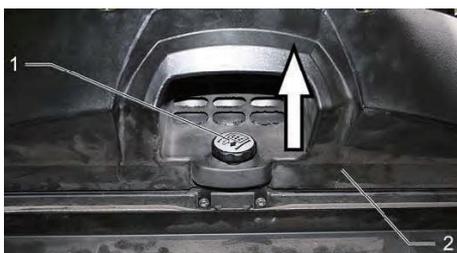
<注意>

乾いた布で清掃は行わないこと
爆発の危険が生じます。

メンテナンス方法



＜後輪 ホイールナット＞
車止めを併用してください。
ホイールナットに緩みが無いか確認してください。
ホイールナットの締付トルク：56 Nm



＜ダストフィルター＞
車止めを併用してください。
1 フィルターカバー 固定ボルト
2 フィルターカバー
① コンテナを上昇してください。
格納状態ではフィルターカバーを全開にすることが出来ません。
② フィルター固定ボルトを緩めてください。



③ フィルターカバーを持上げてください。
④ フィルターカバーをロッドで固定してください。

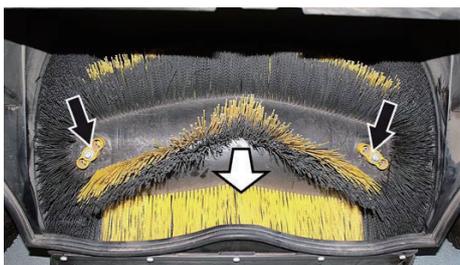


KM105：2個搭載
KM125：3個搭載
フィルターは15秒ごとにTACT（自動チリ落とし）が作動します。
定期的にフィルターを取り外し状態を確認してください。



① フィルターを取り取外してください。
② フィルターを点検、清掃または交換を行ってください。
フィルターの損傷
フィルターの濡れ
フィルターラバーの損傷
③ 所定の場所にフィルターを挿入してください。
④ フィルターカバーを閉めてください。
⑤ フィルターカバー 固定ボルトで固定してください。
締付が弱い場合チリ落としは作動しません。

メンテナンス方法



<メインブラシ>

車止めを併用してください。

- ① 水平な場所に移動してください。
- ② ダストコンテナを上昇させてください。
- ③ ダストコンテナ昇降シリンダーに安全バーを挿入してください。



- ④ メインブラシ両端の黄色のナットを取外してください。

<注意>

取付時は左 (L) と右 (R) のマークを合わせてください。
ブラシが固定されていることを確認してください。

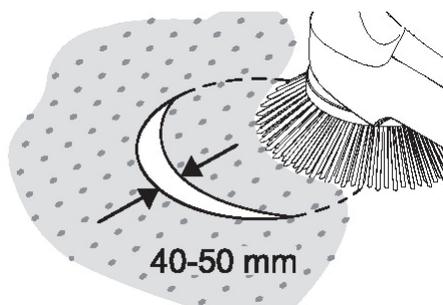


- ⑤ ブラシは2分割されます。
- ⑥ ブラシをシャフトから引き出してください。
- ⑦ 新しいローラーブラシを挿入し、両端の黄色のナットで確り固定してください。

<交換の目明日>

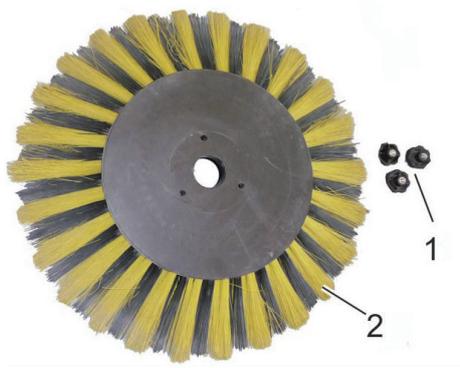
ディスプレイ上に

「Usability of the roller brush <25%>」と表示された場合



<サイドブラシ>

サイドブラシの接地幅が 40 ~ 50 mm の範囲以下になった場合は
ブラシの交換を行ってください。



サイドブラシ固定ナット 3 個で取り外付けてください。

- 1 取付ナット : 6.310-066.0 (3 個必要)
- 2 サイドブラシ (左右同じ)

メンテナンス方法



<エアポンプ フィルター>

● 100 作業時間毎の交換を推奨します。

車止めを併用してください。

1 固定スクリュー

① シート後部の固定スクリューを取外してください。



② シートを上げてください。

③ シートスイッチの接続線のコネクターを取外してください。

④ ➡ 部位にフィルターが取り付けられています。



⑤ 黒いカバーを取外します。
回すと取外せます。



⑥ フィルターカバーをマイナスドライバー等を用い開けてください。(ケガをしないよう注意してください)

⑦ フィルターを取り外し確認してください。
目詰り・変形・損傷している場合は交換を行ってください。

フィルター : 6.476-047.0

<注意 コンプレッサーの損傷>

フィルターを取外した状態で使用しないこと

フィルターが目詰り状態で使用しないこと

メンテナンス方法



<作動油の確認>

車止めを併用してください。
平坦な場所に移動しメンテナンスを行ってください。

- ① メインスイッチを切ってください。
- ② サイドカバー 左側前方の取手に手をかけ
持上げながら横に開いてください。



<作動油の確認>

作動油はコンテナ昇降シリンダーの動作に使用されます。

- 1 キャップ
- 2 作動油タンク

<注意>

この点検は作動油が冷えた状態で行ってください。

- ③ キャップを取り外し作動油の量を確認してください。
Max ~ Min の範囲に有ることを確認してください。
- ④ 足りない場合は補油してください。
- ⑤ キャップをしめてください。

作動油の交換

ケルヒャーサービスフロントへ交換をご依頼ください。

損傷の危険

同じ仕様の作動油を補油してください。

油圧ポンプの損傷を避けるため、ろ過された作動油のみを使用してください。

補油時に作動油の汚れを防止するため清潔な容器を使用してください。

交換の目安

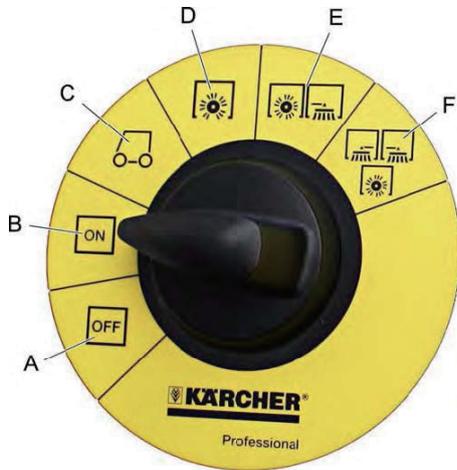
作動油は毎年・もしくは500作業時間毎に交換が必要です。

交換の際はサービスフロントへご依頼ください。(有償作業)



操作方法

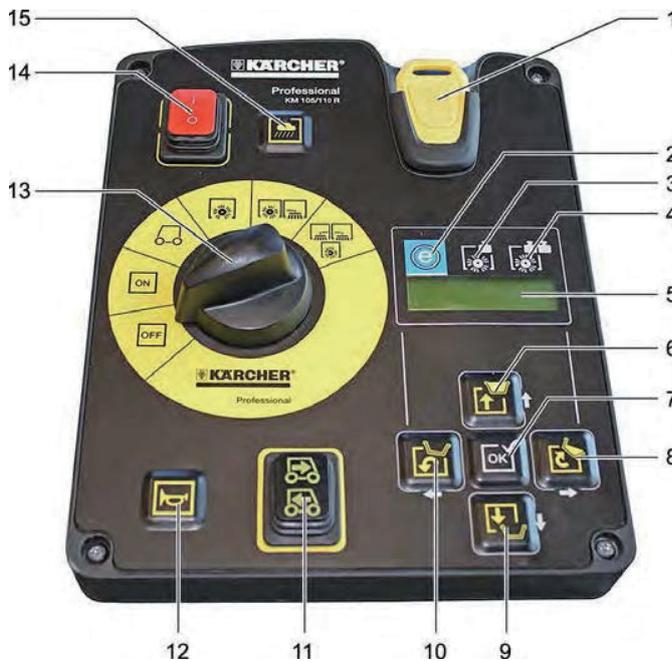
清掃作業中にメッセージ「Charge battery!」が表示された場合
 ブラシ等の清掃作業装置が停止しますが約 15 分間走行は可能です。
 バッテリーの容量が低下している為、直ちに充電場所へ移動し充電作業を行うことを推奨します。
 そのまま作業を継続した場合「BAT switch off!」のメッセージが表示され直ちに停止します。



<プログラムスイッチ>

- A OFF
- B ON 作動準備
- C 走行モード (ブラシ停止)
- D 清掃モード メインブラシ
- E 清掃モード メインブラシ+サイドブラシ
- F 清掃モード メインブラシ+両サイドブラシ

現場の状況に合わせてプログラムスイッチを選択してください。



<操作パネル>

- 1 KIK キー
黄色 : 作業用
グレー : 管理者用
- 2 エコモード
- 3 ブラシ面圧 ミディアム
- 4 ブラシ面圧 加圧
- 5 ディスプレー
- 6 ダストコンテナ上昇
- 7 OK ボタン (確認)
- 8 ダストコンテナ 回転し廃棄
- 9 ダストコンテナ 降下・格納
- 10 ダストコンテナ 元の状態に回転格納
- 11 走行切り替えスイッチ
- 12 ホーン
- 13 プログラムスイッチ
- 14 メインスイッチ
I 作動準備 OK
O 停止
- 15 タービンスイッチ
グリーンランプ点灯 : 湿った路面
タービン・チリ落とし : 停止
消灯 : 乾いた路面
タービン・チリ落とし : 動作



<KIK キー>

KIK キーを 1 枚 挿入部に奥まで確り差し込んでください。

<注意>

KIK キーが重ならないよう取り扱ってください。

左図のように重なった場合

ディスプレイに F/11 エラーが表示されます。

操作方法



<走行>

- 1 アクセルペダル
- 2 走行切り替えスイッチ

- ① プログラムスイッチを ON に合わせてください。
カチと作動音がします。
- ② プログラムスイッチを走行モードに合わせてください。
- ③ 走行切り替えスイッチを操作し
前進もしくは後進を選んでください。
- ④ アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

<注意>

走行中に走行切り替えスイッチを操作しないこと
走行モーターが損傷します。
完全に停止した後、走行切り替えスイッチを変更してください。

<停止>

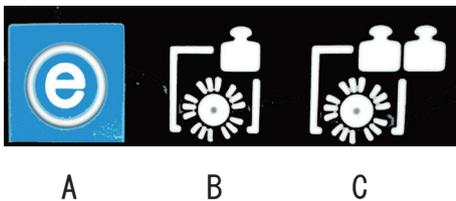
- ⑤ アクセルペダルを放すと自動的にブレーキが作動します。

<注意>

停止しない場合はメインスイッチ切り緊急停止を行ってください。
再発する場合はケルヒャーサービスフロントへ修理を依頼してください。

<段差を乗り越える>

- ⑥ 段差を乗り越える場合は必ず1輪ずつ段差をこえてるか傾斜路をもうけてください。(最大 60 mm)
走行系統・ブラシユニットを損傷します。



<ブラシの面圧調整>

清掃作業中メインブラシの面圧（当たり具合）を調整することができます。

- ① プログラムスイッチを清掃モードに合わせてください。
D メインブラシ
E メインブラシ+サイドブラシ
F メインブラシ+両サイドブラシ
- ② 走行切り替えスイッチを操作し前進を選んでください。
後退時はゴミは捕獲しません。
- ③ アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。
- ④ 床の汚れ具合に応じスイッチを選択してください。
A エコモード
B ブラシ面圧 ミディアム
C ブラシ面圧 加圧

<注意>

路面の汚れ具合に応じ走行速度を調整してください。
砂・石などの比重の大きいゴミを清掃する場合はこまめにコンテナのゴミを廃棄してください。
コンテナのゴミが満杯になると取り残しが生じます。

操作方法



<フラップ>

大きなゴミを捕獲する場合使用します。

- 1 フラップ開閉ペダル
高さ 50 mm までのゴミを捕獲することができます。

大きなゴミが路面にある場合

- ① 運転席の真下にゴミが移動してきた場合
フラップ開閉ペダルを瞬間踏み込んでください。
コンテナに回収されると大きなゴミが捕獲された音が聞こえます。
- ② 回収後直ちにフラップ開閉ペダルから足を放してください。
フラップ開閉ペダルを踏み続けた状態で走行するとゴミが前方へ飛び散ります。



<濡れた路面の清掃>

路面が濡れている場合

ブロアスイッチを操作しタービンを停止させてください。
停止させることによりフィルターの損傷を防止します。

ブロアスイッチ

グリーンランプ点灯：湿った路面
ブロワー・チリ落とし：停止
消灯：乾いた路面
ブロワー・チリ落とし：動作



<コンテナのゴミ廃棄>

コンテナのゴミが満杯になると取り残しが生じます。

定期的なゴミ捨てを行ってください。

- 2個のスイッチを同時に操作を行います。

<コンテナの昇降>

コンテナ昇降作業中は清掃システムは作動しません。

定位置に格納された場合のみ清掃作業が行えます。

- ① コンテナ上昇させます。
規定以上に上昇するとコンテナを回転させることができます。
- ② コンテナを回転しゴミを廃棄します。
回収容器に直接処分することができます。
- ③ コンテナを格納位置に戻します。
- ④ コンテナを格納してください。

<注意>

人や動物がコンテナの下に入り込まないように注意すること

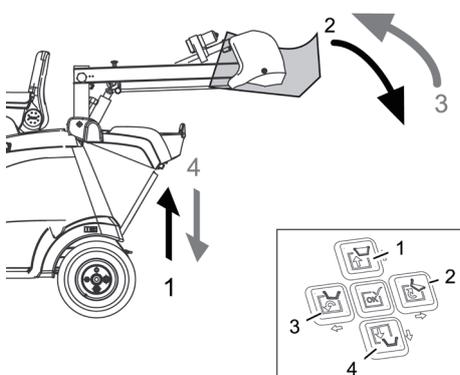
切断の危険

コンテナ昇降ロッドの中に手を入れないでください。

手・腕が切断する危険があります。

転倒の危険

ダストコンテナを操作する場合は水平な床・路面で行うこと
傾斜地で操作を行った場合、転倒する危険があります。



KIK キー 操作

	<p>清掃モードの選択 プログラムスイッチを回すことによって変更することができます。</p>
	<p>メニューボタン メニューは、選択したモード毎に表示されます。</p>
	<p>メニューボタンを回す。 パラメーターを選ぶ場合に回してください。</p>
	<p>メニューボタンを押す。 パラメーターを承認する場合押してください。</p>



<注意>

KIK キーを重ねないこと
システムエラーが生じ動きません。

補修部品として販売を行っています。

 イエロー : 5.035-943.0

 グレー : 5.035-944.0

言語設定



<言語設定>

メニューの言語は個々の KIK キーに割り当てることができます。

- ① シートに着座。
- ② グレーの KIK キーを差し込む。
- ③ プログラムスイッチ：ON
- ④ ナビゲーションキーを上・下操作を行い
- ⑤ ディスプレーに「Intelligent key (KIK) manager」を表示されます。
- ⑥ 確認キー“OK”を押してください。
- ⑦ グレー KIK キーを取り外してください。
- ⑧ プログラムしたいイエローもしくはグレー KIK キーを挿入してください。
- ⑨ 「Select language:English」を選んでください。
- ⑩ ナビゲーションキー“左・右”操作 ⇒ 指定言語をディスプレイに表示されます。
18か国語から選ぶことができます。(日本語は有りません)
- ⑪ ナビゲーションキー“上・下”操作し
- ⑫ ディスプレーに「program ? NO」が表示
(カウントが0になる前に操作してください)
- ⑬ ナビゲーションキー“左・右”操作し
- ⑭ ディスプレーに「until program? YES」を表示させてください。
(カウントが0になる前に操作してください)
- ⑮ 確認キー“OK”を押してください。
- ⑯ 「Programmig successful」がディスプレイに表示されます。
(プログラム成功)
- ⑰ 「Want to program new KIKNO」がディスプレイに表示されます。
(カウントが0になる前に操作してください)
- ⑱ 確認キー“OK”を押してください。
- ⑲ プログラムスイッチをOFFに移動してください。
- ⑳ 書き込まれた KIK キーを抜いてください。

KIK イエローキー（作業用）

Welcome to
KM 105/XXX

設定機種名表示



プログラムスイッチ：メインブラシ
メインブラシ+右サイドブラシ駆動

- 1) プログラム選択スイッチの位置により異なります。
- 2) KIK グレーキーで有効にする必要があります。

Ophrs XXh XXm	累積 作動時間表示
Service: XXh XXm	サービス 残時間
Dailyhrs XXh XXm Clear hours XX	日計 作動時間
TACT cycle 1	TACT 設定
Revolut. Blower 1	ブロワー 設定
Usable sweeping brush XX%	メインブラシ 設定
Machineoperation Status 2	作動 設定
Sweeping mark Status 2	清掃 設定
Dust Level Status 2	ダストレベル 設定
Worklight on/off Status 2	作業灯 on/off
Worklight mode Status 2	作業灯 設定
Beacon on/off Status 2	回転灯 on/off
Beacon mode Status 2	回転灯 設定
Speed Status 2	速度 設定
Sweepmode speed Status 2	清掃速度 設定
Blower/Comprssor Status 2	タービン / コンプレッサー 設定

KIK グレーキー（管理者用）



- 1) プログラム選択スイッチの位置により異なります。
- 2) KIK グレーキーで有効にする必要があります。

ファクトリーセッティングとは設定が全て出荷状態に戻ります。
KIK グレーキーを使用します。

「Want to restore factory settings」

任意に設定された仕様はすべてリセットされ、納品時の状態に戻ります。
リセットを実行する前に個別設定された仕様を記録されることを推奨します。

トラブル対応

症状	対策
まったく動かない	バッテリー接続コネクタを接続する
	サイドカバー 左側を閉じる
	シートに座る
	メインスイッチを ON にする
	KIK キーを 1 枚ずつ使用する
	KIK キーをしっかりと挿入する
	プログラムスイッチを ON にする
	コンテナを格納する
	ディスプレイでバッテリー容量を確認・充電
	サービスフロントへ修理を依頼
	ゴミがきちんと取れない
面圧調整を行う “MEDIUM” or “HEAVY”	
メインブラシ、サイドブラシを確認 / 交換	
フラップを確認 / 調整	
フラップ、サイドリップ、リアリップの調整 / 交換	
ブラシ駆動ベルトを確認 / 交換	
サービスフロントへ修理を依頼	
ほこりが舞う	ダストコンテナのゴミを捨てる
	タービンスイッチを入れる
	フィルターを清掃 / 交換
	フィルターケースのシールを確認
	フラップを確認 / 調整
	TACT (自動チリ落とし) が作動しているか確認
	フラップ、サイドリップ、リアリップの調整 / 交換
	サービスフロントへ修理を依頼
ブラシスイッチが作動しない	コンテナを格納する格納する
	サイドカバー 左側を閉じる
	サービスフロントへ修理を依頼
サイド・メインブラシが 降下しない	プログラムスイッチをサイドブラシモードに合わせる
	昇降シリンダーを確認
メインブラシが回らない	プログラムスイッチを清掃モードに合わせる
	コンテナスイッチを操作する (2 個同時)
	サービスフロントへ修理を依頼
コンテナが動かない	プログラムスイッチを走行位置する
	スイッチを 2 個同時に操作する
短い打撃音が聞こえる	TACT (自動チリ落とし) の作動です

ディスプレイメッセージ表示：トラブル対応

	表示	状況	対策
1	Invalid KiK! Operation locked	KiK キーが認識できない 作動停止	認証されている KiK キーを再挿入
2	Valid KiK but no operation rights	認証済み KiK キーが挿入されているが読み 込めない ⇒ 作動停止	認証されている KiK キーを再挿入 KiK キー グレーでプログラム
3	High dump tracer stuck! Check it!	コンテナスイッチ 2 個は起動と同時に自己 診断を実施 起動中はコンテナスイッチは操作でない。	コンテナスイッチ 2 個の操作中止 OK キーを操作しメッセージを確認
4	Locked HD-tracer	清掃作業中に コンテナスイッチ 2 個を操作 安全の不具合から廃棄プログラム停止	コンテナスイッチ 2 個の操作中止 走行モード (C モード) に切り替える コンテナスイッチ 2 個を操作する コンテナを上昇後ごみを廃棄する
	Hours: xxxxxhym+	起動時に走行もしくは作業モードが選択 かつシートに座っていない場合に表示 全ての機能が作動停止状態	シートに座る 注：選択プログラムは自動運転移行 シートスイッチ作動テストとし て活用できる
	Low oil level engine! Hours: xxxxxhym+	エンジンオイルが足りない エンジン及び、全ての機能が作動停止	エンジンオイルを交換 プログラムスイッチを一度 OFF にし 再起動 (リセット)
5	Sit on machine for operation!	起動時に 走行もしくは作業モードが選択かつシート に座っていない場合に表示 全ての機能が作動停止状態	シートに座る 注：選択プログラムは自動運転移行 シートスイッチ作動テストとし て活用できる
8	Dirt pan open?	コンテナ廃棄後 コンテナが格納位置まで完全に回転してい ない ⇒ 作動停止状態	走行モード (C モード) にする 2 個のコンテナスイッチを押した状態 で保持、必要に応じコンテナを回転格 納後降下
		コンテナが傾いている状態で格納操作実施 注：コンテナが回転状態で降下 安全装置が作動し停止	コンテナスイッチ 2 個から手を離す 降下させる前に コンテナを回転格納位置へ移行
		格納状態でコンテナを傾けようとした 注：格納状態でコンテナの回転操作を実施 安全装置が作動し停止	コンテナスイッチ 2 個から手を離す 回転可能位置までコンテナを上昇後 回転操作
9	Brushpos. not ok	メインブラシが格納位置まで戻らない 動作準備が出来ているが清掃結果悪い	OK キー (削除) でメッセージを確認 走行モード (C モード) に切り替える 任意の清掃モードに切り替える
10	RBroompos. not ok	右サイドブラシが格納位置まで戻らない 動作準備が出来ているが右サイドブラシが 上昇していない可能性が有る	OK キー (削除) でメッセージを確認 走行モード (C モード) に切り替える 任意の清掃モードに切り替える
11	LBroompos. not ok	左サイドブラシが格納位置まで戻らない 動作準備が出来ているが 左サイドブラシが上昇していない可能性 が有る	OK キー (削除) でメッセージを確認 走行モード (C モード) に切り替える 任意の清掃モードに切り替える
12	SBroompos. not ok	センターブラシが格納位置まで戻らない 動作準備が出来ているがセンターブラシが 上昇していない可能性が有る	OK キー (削除) でメッセージを確認 走行モード (C モード) に切り替える 任意の清掃モードに切り替える

ディスプレイメッセージ表示：トラブル対応

	表示	状況	対策
13	Seat switch open	運転モードで座席から 1.5 秒以上離れた全てのブラシが自動的に上昇し停止	シートに座る 選択されたプログラムは自動的に開始
14	Usable sweeping brush <25%	メインブラシ摩耗限度 動作準備が出来ているが清掃結果は悪い	メインブラシを交換する
15	MF-module not ready to use x	コントロールパネルとコントロールモジュールが接続遮断 ⇒ 全停止	プログラムスイッチを一度 OFF にする
16	Motorhood open!	サイドカバー 左側が固定されていない ⇒ 全停止	サイドカバー 左側を固定 プログラムスイッチを入れなおす 注 メッセージが消え操作準備が完了
	Engine support OFF	動作中にバッテリー電圧低下 上り坂走行時アシスト機能は停止される	OK キー（削除）でメッセージを確認 平坦地で長時間作業を行い充電 もしくは充電器で充電
	Low battery	清掃モード時バッテリー電圧が急激低下 停止後エンジンの再起動が出来ない ⇒ 全ての清掃機能が停止	メッセージは確認できなくなる 平坦地で長時間作業を行い充電 もしくは充電器で充電
	Battery flat! Charge externally!	プログラムスイッチ ON で電圧がエンジン起動電圧に達していない バッテリーを保護するため全停止	バッテリーを充電
18	Charge battery!	バッテリー電圧が低い 全ての機能が停止	メッセージが確認できなくなる バッテリーを充電
19	BAT shut-down	バッテリーが消耗 バッテリーの保護のため強制停止	バッテリーを取り外し充電・交換
20	Firmware update firmware update!	自己診断中に安全性に重大なエラーを検出 全ての機能が停止	サービスフロントへ修理を依頼
	V-engine error OFF for restart	エンジン制御監視システムの重大エラー エンジンが停止出来ない	エンジンを強制停止 ⇒ メインスイッチを「0」にする ⇒ プログラムスイッチを OFF 再起動 ⇒ メインスイッチを（I）にする ⇒ 清掃プログラムに再度変更
22	Call service! +xx-xxxx-xx-xxxx	設定された点検期間を超過 操作は行えるが、起動毎に表示される	OK キー（削除）でメッセージを確認
23	Red 0/1 switch=0 Operation locked	メインスイッチが OFF 全ての機能が停止	メインスイッチを入れる プログラムスイッチを再設定
24	Easy oper. switch must be OFF next	Red 0/1 switch=0 Operation locked 関連表示	プログラムスイッチを OFF メインスイッチを入れる（I） プログラムスイッチを ON

エラーコード表示

コード化された識別 No. が上部行に表示されます。	
X yyy	識別表示 X (主) 3桁の数字を表示 (yyy: エラー No.)
例 S 110	アプライアンス機能を完全にまたは部分的に無効にするシステムエラーがあります。 全システムエラーと部分的なシステムエラーがある
例 P 3 C 41 H 2	機械制御によるエラー 個別もしくは複合機能が停止が停止します
F/11	KIK キーが複数ある
コード化されたエラーが発生した場合 最初にプログラムスイッチをリセットする 注 プログラムスイッチを5秒以上 OFF にし、プログラムスイッチを入れ直す 再発する場合はエラーコードを書き留め、サービスフロントへ連絡してください。	

エラーコードの種類

下記のエラーコードが表示されます。

- エラーメッセージ S1**
- 電源エラー P***
- 清掃モジュールエラー C***
- 走行モジュールエラー F***
- 充電器エラー L**
- 昇降モジュール1エラー H***
- 昇降モジュール2 外部エラー X***
- 昇降モジュール 警告 H0**

エラーコードが表示された場合、トラブル対応を実施してください。

修復しない場合はリセットを行ってください。

リセット方法

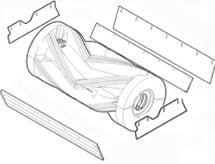
一度スイッチを切り 15 秒以上放置した後、再起動を行ってください。

<再発する場合は>

サービスフロントへエラーコードをお知らせください。

故障部位の特定に重要な情報です。

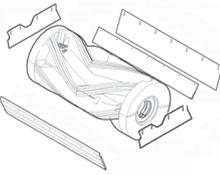
補修部品 KM 105

補修部品			KM 105
メインブラシ		ソフト	4.762-523.0
		標準	4.762-529.0
		ハード	4.762-524.0
		固定ナット	5.322-060.0 (4個必要)
サイドブラシ		ソフト	6.966-065.0
		標準	6.966-063.0
		ハード	6.906-705.0
		固定ナット	6.310-066.0 (3個必要)
メインブラシ ストリップ		フロント	5.394-889.0
		リア	5.394-884.0
		サイド	5.394-888.0
バッテリー		240Ah	6.654-112.0
KIK キー		黄色	5.035-943.0
		グレー	5.035-944.0
フィルター		必要数	6.907-519.0
			2個

<注意>

形状・色・注文番号は変更される場合があります。(19年6月)

補修部品 KM 125

補修部品			KM 125
メインブラシ		ソフト	4.762-526.0
		標準	4.762-525.0
		ハード	4.762-527.0
		固定ナット	5.322-060.0 (4個必要)
サイドブラシ		ソフト	6.966-065.0
		標準	6.966-063.0
		ハード	6.906-705.0
		固定ナット	6.310-066.0 (3個必要)
メインブラシ ストリップ		フロント	5.394-924.0
		リア	5.394-892.0
			5.394-893.0
		サイド	5.394-888.0
バッテリー		400Ah	6.654-156.0
KIK キー		黄色	5.035-943.0
		グレー	5.035-944.0
フィルター		必要数	6.907-519.0
			3個

<注意>

形状・色・注文番号は変更される場合があります。(19年6月)

ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。

ケルヒャー ジャパン株式会社では十分なアフターサービスを提供するために当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



＜ユーザー登録をいただいたお客さま限定＞

ご購入日から1年間の保証期間を
ご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。

＜注意＞

製造時に起因した不具合にのみ2年間の保証が適応されます。
使用に伴う劣化・損傷・故障は期間内であっても有償修理となります。

＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N : x x x x x x の数字がシリアル番号です。

＜保証＞

保証規定については、保証書をご確認ください。

＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント

T E L : 0570-78-3140

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。
尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために
利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
当社の個人情報保護の取り組みについてはケルヒャー ジャパン株式会社のホームページ
でご覧いただけます。

保証書

保証規定

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万が一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い無償修理いたします。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
本書の再発行は行ないません、紛失しないよう切り取り大切に保管してください。

保証の内容

お買い上げいただいた製品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、これを無償修理いたします（この無償修理を保証修理といいます）。

保証修理は部品の交換あるいは補修により行ないます。また取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

保証期間

保証期間は製品を新品でご購入いただいた日から1年です。

但しご購入から1ヶ月以内にケルヒャーユーザー登録をいただいた場合に限り、保証延長が適用され保証期間はご購入いただいた日から2年となります。

ケルヒャーユーザー登録方法は弊社ウェブサイトをご覧ください。

※温水高圧洗浄機のステンレス製ヒートコイルのみご購入日から3年間の保証となります。

保証できない事項

お買い上げ頂いた機種に該当しない事項も記載されています。

■次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理いたしません。

- ・取扱説明書に反する使用
- ・保守整備の不備または使用方法の間違い（日常点検をしていない場合）
- ・弊社が提示している仕様の限界を超える使用（例：電力異常による損傷、燃料異常による損傷、凍結させた場合の損傷、ホースの亀裂など）
- ・弊社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意によるケガおよび故障

■次に示すものは保証修理いたしません。

- ・消耗品（油脂、ノズル、リング、パッキン、バルブ、ホース、ベルト、ギア、ブラシ、パッド、ストリップ、バッテリー、タイヤおよびこれらに類する消耗品）
- ・経年変化により発生した不具合（錆び、塗装、プラスチックの自然退色、ホースのひび割れ、安全バルブ、電装部品など）
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動、微量な水もれ、オイルのにじみなど）
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合、故障
- ・薬品、塩害などに起因する不具合、故障
- ・水質などに起因する詰まり、劣化、消耗、傷

■次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・清掃、点検、調整、定期点検整備、保証修理以外で使用した部品、輸送費、宿泊費、出張費など
- ・この保証書に示す条件以外の費用補修など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さおよび損失など（休業損失、商業損失など）
- ・洗浄対象物に損傷、破壊、変色などが生じた場合の補修費用
- ・正しく操作をせずに負ったケガの治療費用

保証の適用

この保証書と、販売店からの納品書または領収書をご提示ください。

ご提示いただけない場合、保証は適用出来ません。

この保証は、日本国内で使用される弊社製品のみ適用されます。

海外へ持ち出す場合、また海外で使用したことによる不具合・故障は保証の適用といたしません。

保証修理の受け方

保証修理を希望される場合は、サービスフロントへご連絡ください。

保証適用可否の判断は、ケルヒャー エンジニアによる検査後にご連絡いたします。

定額修理該当機種の保証修理は弊社修理センターへご送付ください。（拠点では行っておりません）

定額修理該当機種の保証修理に伴う出張サービスは行っておりません。

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社：〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町 639 番 3

ウェブサイト：<https://www.kaercher.com/jp/>

サービスフロント TEL:0570-78-3140

FAX:045-438-1320

保証書 お客様情報

機種名	KM 105 / 110 R Bp ・ KM 125 / 130 R Bp
シリアル番号 (製造番号)	
会社名	
部署名	
ご担当者名	
日中通じる 電話番号	
F A X 番号	
メールアドレス	
郵便番号	
ご住所	都・道・府・県
	郡・市
	町・村
	丁目
	番地 号

切り取り線

切り取り線
